

### 問1-3 住みにくいを選んだ理由

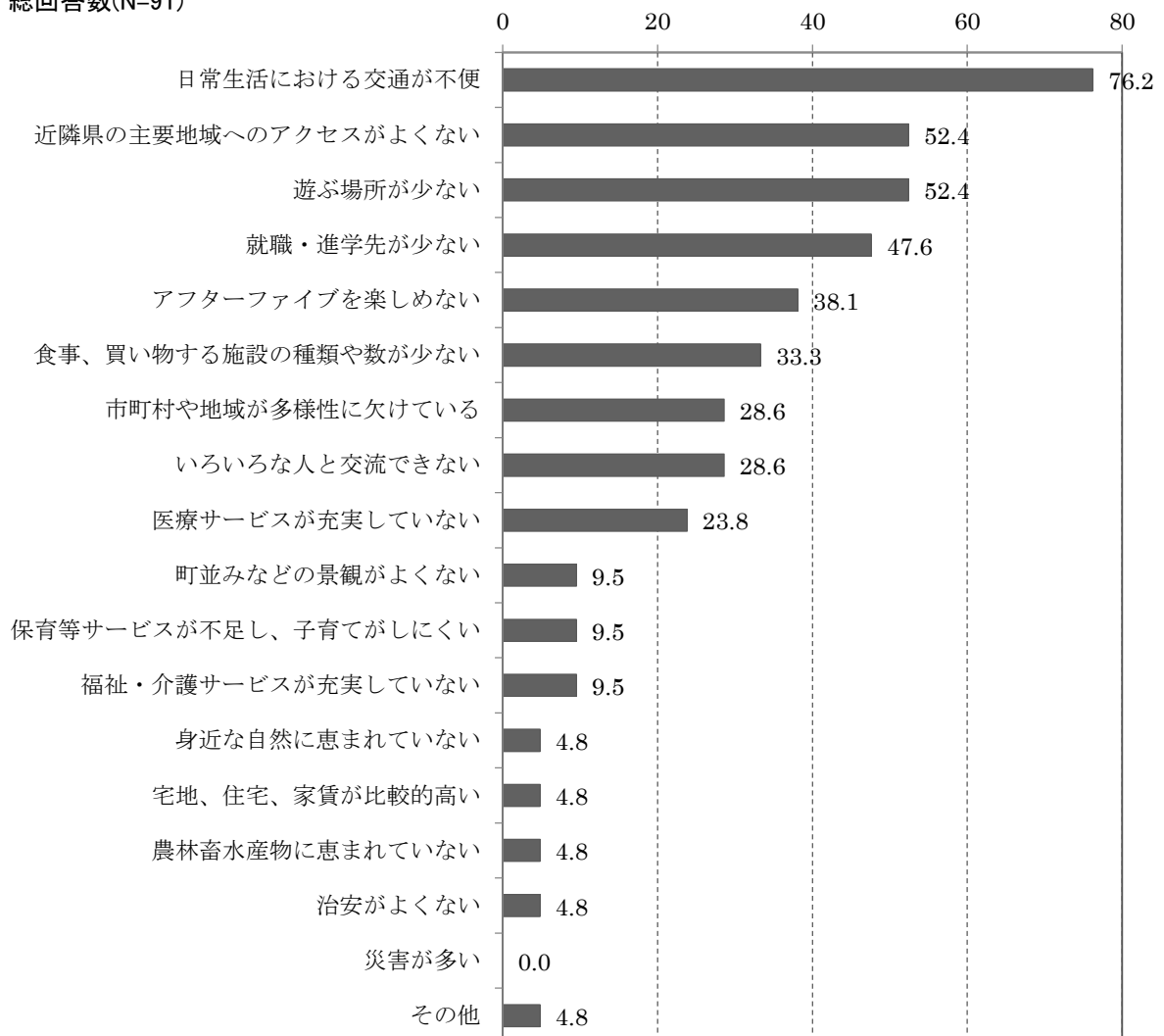
問1-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方にお尋ねします。  
その理由はなんですか。(いくつでも)

全体(図1-3-1)で見ると、「日常生活における交通が不便」が76.2%と最も高く、次いで、「近隣県の主要地域へのアクセスが良くない」が52.4%、「遊ぶ場所が少ない」が52.4%の順となっている。

図1-3-1 住みにくいを選んだ理由

回答者数(n=21)※

総回答数(N=91)



※問1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方のみ

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

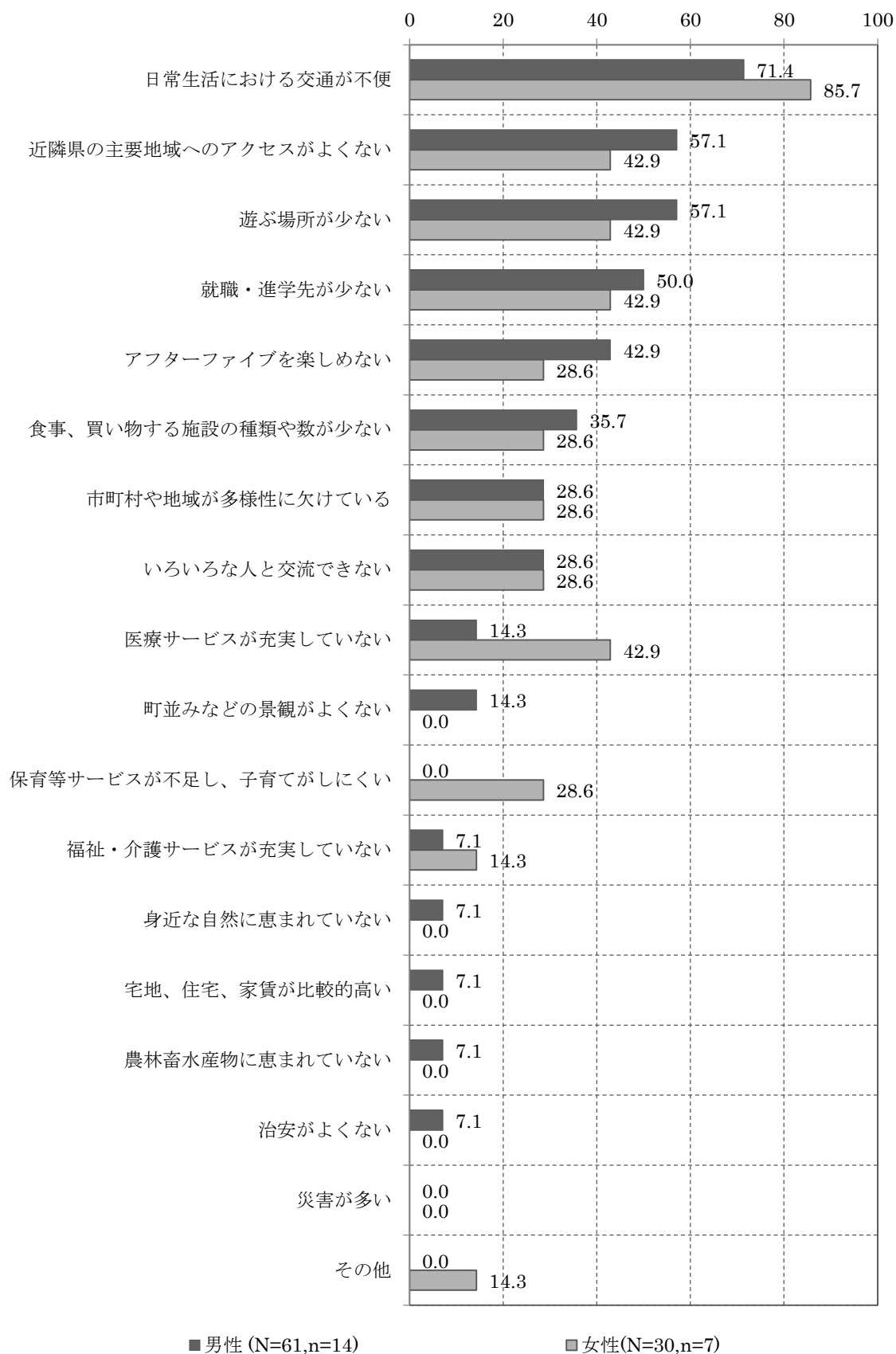
- ・市町村や地域が多様性(都市的な面と農村的な面、近代的な面と伝統的な面など)に欠けている……市町村や地域が多様性に欠けている

※「その他」の内容

- ・他県の出身者だと分かると態度を変える地元民が多く、疎外感がある。(たまに、温かく接してくれる人もいますが。)

性別（図 1-3-2）でみると、男女ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、男性は 71.4%、女性は 85.7%となっている。

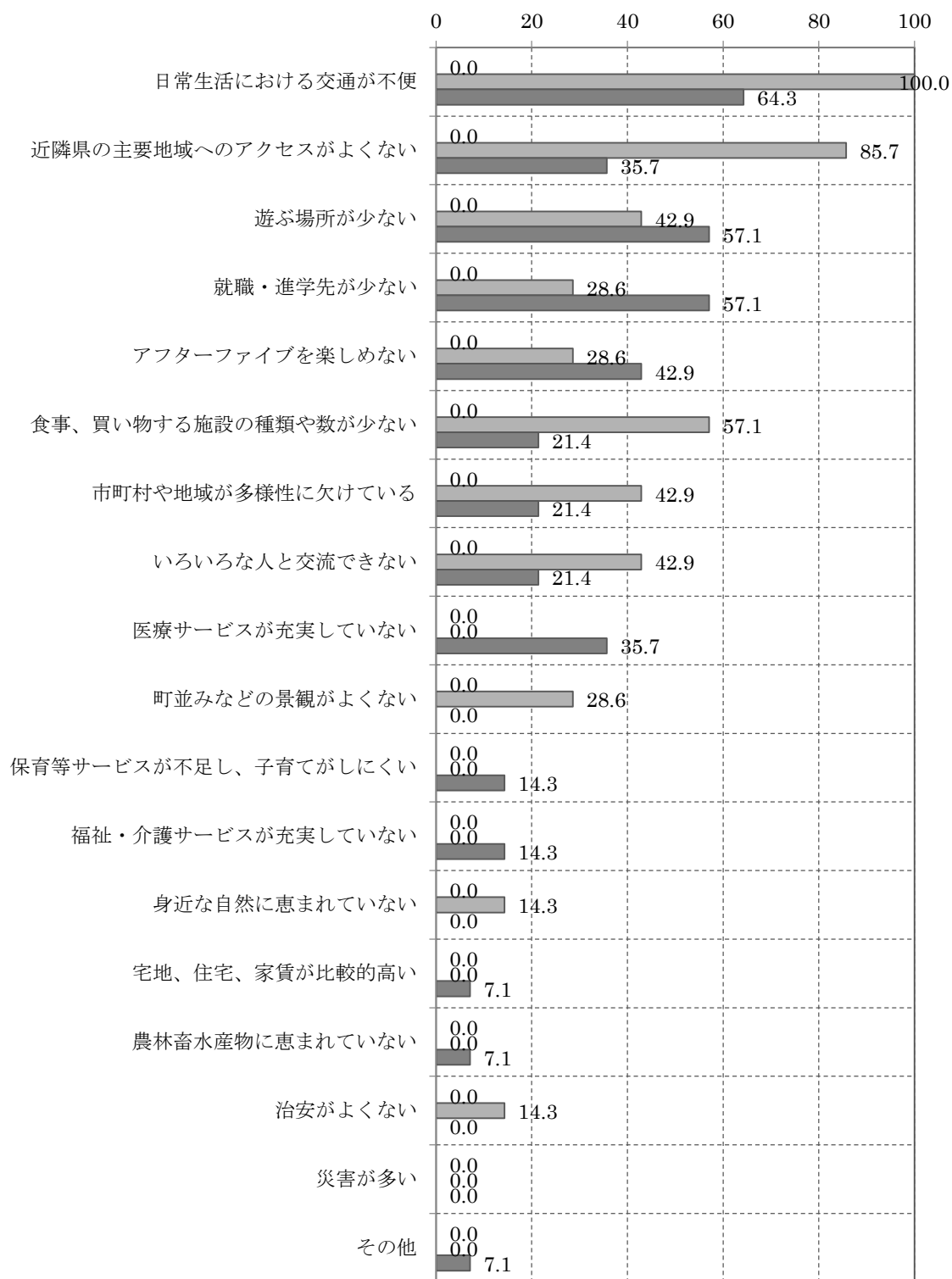
図 1-3-2 【性別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-3-3）で見ると、20 歳から 29 歳は「日常生活における交通が不便」が最も高くなっている（20 歳から 24 歳では 100.0%、25 歳から 29 歳では 64.3%）。なお、18 歳または 19 歳で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ人はいない。

図 1-3-3 【年代別】住みにくいを選んだ理由

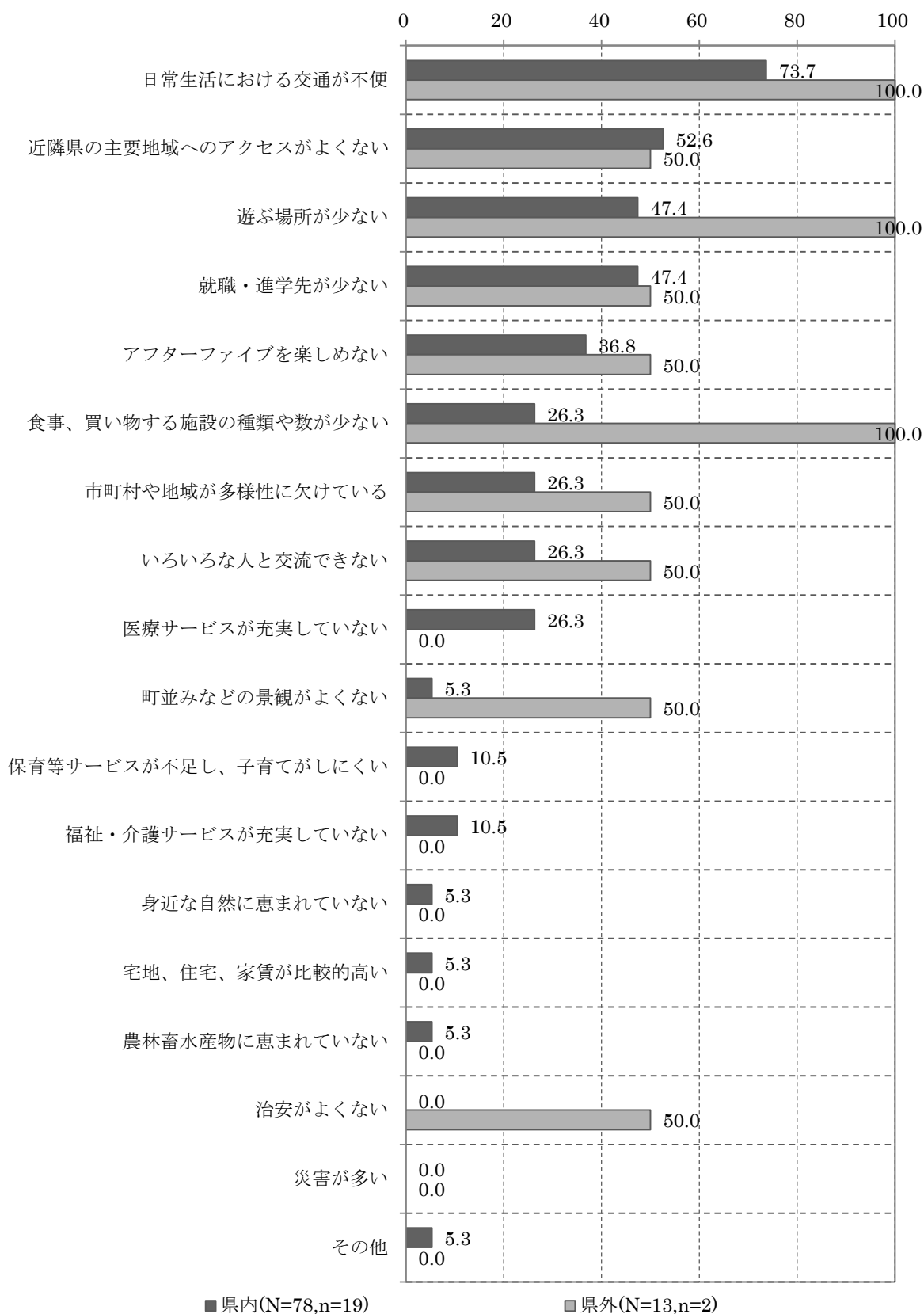


■ 18歳または19歳(N=0,n=0) ■ 20歳から24歳(N=34,n=7) ■ 25歳から29歳(N=57,n=14)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-3-4）で見ると、県内、県外ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、県内は73.7%、県外は100.0%となっている。県外は「遊ぶ場所が少ない」、「食事、買い物する施設の種類の数が少ない」も100.0%と最も高くなっている。

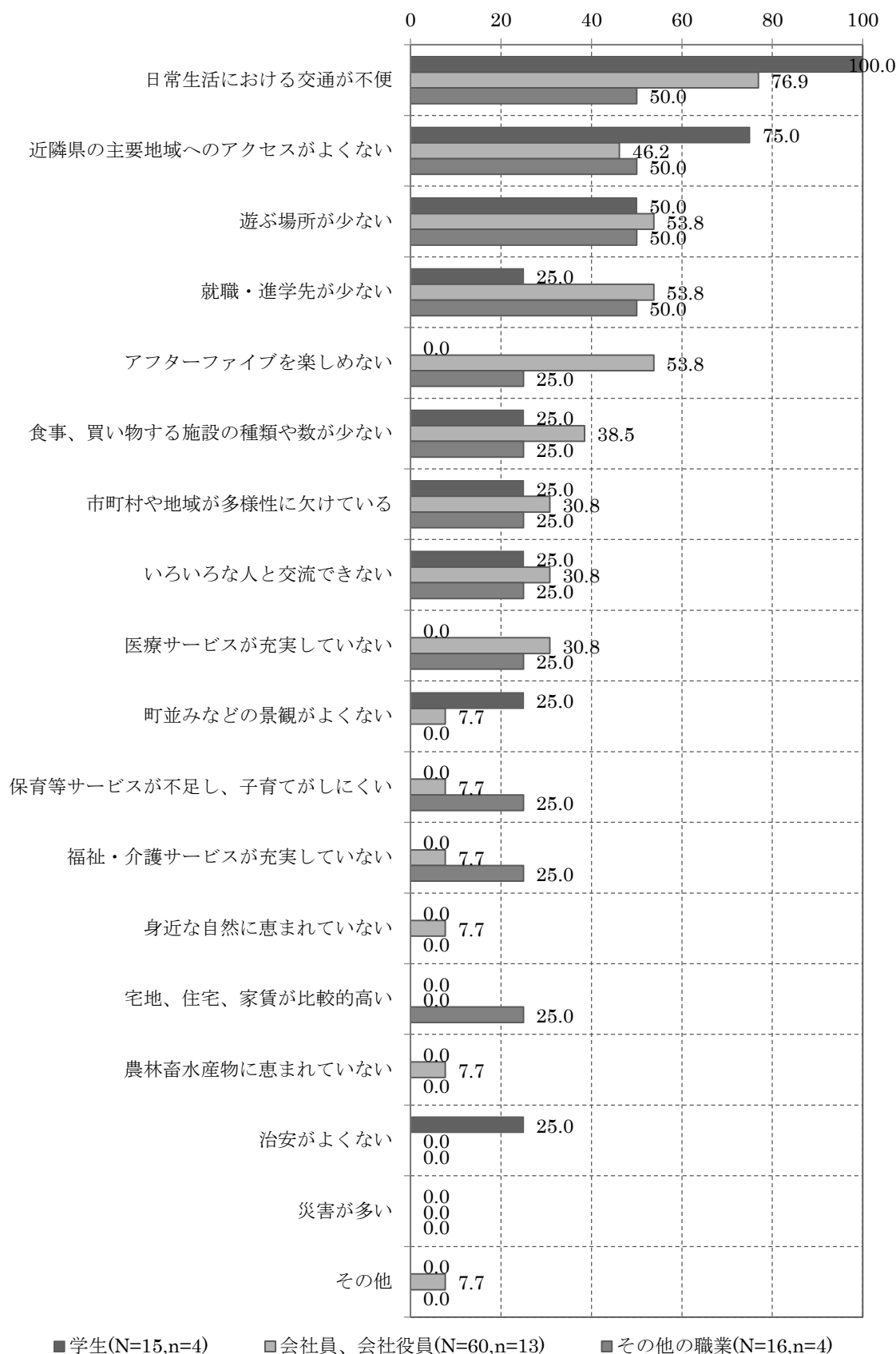
図 1-3-4 【居住圏域別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-3-5）で見ると、いずれの職業においても「日常生活における交通が不便」が最も高く、そのうち学生は 100.0%と最も高くなっている。

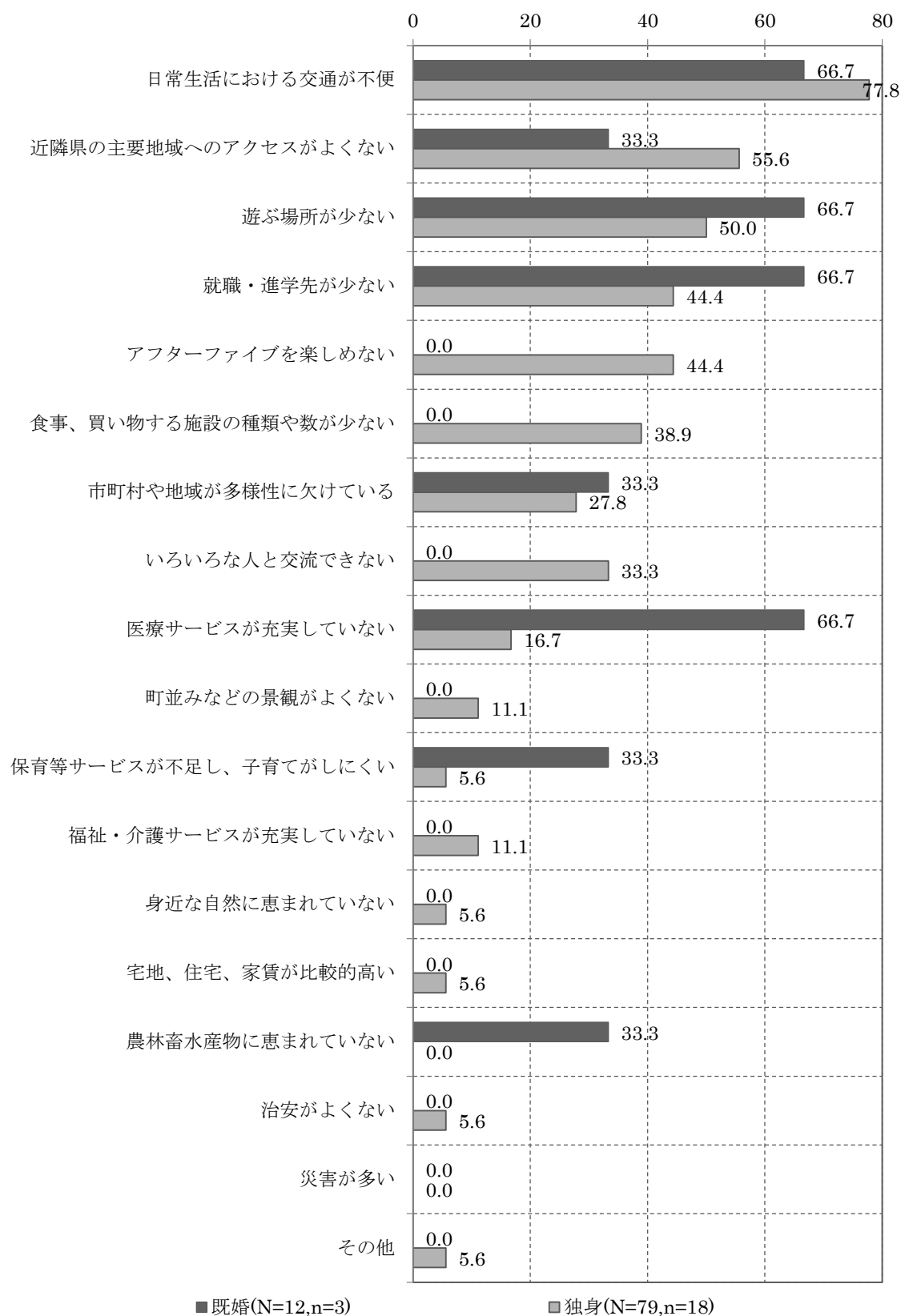
図 1-3-5 【職業別】 住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 1-3-6）でみると、既婚、独身ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、そのうち独身は77.8%と最も高くなっている。

図 1-3-6 【婚姻の状況別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数